



竹内街道・横大路(大道)～難波から飛鳥へ日本最古の官道～ ガイド付ウォーキングイベント



奈良県桜井市

コース
マップ

横大路の終点から上ツ道、中ツ道を巡り悠久の歴史を感じるコース

日本遺産認定歴史の道、竹内街道・横大路(大道)とは

推古天皇21(613)年に敷設された竹内街道・横大路(大道)は、外交の玄関口である難波津から堺を経て、政治の中心だった飛鳥・小瀬田宮(おはりだのみや)を結ぶわが国最古の官道。総延長約40キロ、幅20メートル以上だったといわれる。難波宮の朱雀大路から南下する難波大道、堺と長尾神社(奈良県葛城市)を東西に結ぶ竹内街道、長尾神社から小西橋(桜井市)を結ぶ横大路の三つの道からなる。古代以来、大陸との外交や聖德太子信仰、物流の拠点を結ぶ経済など、時代とともに多様な表情を刻んできている。平成29(2017)年に日本遺産に認定された。

主催:竹内街道・横大路～難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」～活性化実行委員会 共催:産経新聞社
(大阪府・大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・奈良県・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村)

ガイド:桜井市観光ボランティアガイドの会

文化庁 令和元年度文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)



⑤文殊院西古墳 (国特別史跡)

切石積みの両袖式横穴式石室で、玄室には切りそろえられた長方形の石が交互に積まれ、特にドーム状に磨かれた一枚岩の天井は見事です。日本で一番美しい石室といわれ、その完成度から7世紀後半頃の築造と考えられています。現在は玄室に願掛け不動石仏が祀られています。

※安部文殊院 境内



⑥小西橋

寺川にかかるこの橋が、横大路の東端と考えられています。南北の上つ道と直交し、さらに東へは伊勢街道として東国へつながります。



⑦仁王堂八幡神社

祭神は品陀和氣命(応神天皇)です。創建は灯籠や狛犬の紀年銘から江戸時代中期と考えられています。小字名の仁王堂は安倍文殊院の仁王門に関わるものとされています。現在仁王堂と呼ばれているお堂には地蔵菩薩が祀られています。



⑧横内神社

正式名は撞賀木嚴御魂天疎向津姫命神社です。社名の男女二柱が祭神で、天照大神の荒御魂ともいわれている神様です。横大路が江戸時代になると伊勢街道と呼ばれるようになり、伊勢の神にかかわる神様を祀るようになったようです。

横内という名称は横大路に由来したものと考えられています。



⑨三輪神社

祭神は大物主御靈玉命です。南側を横大路が通り西側には中ツ道が通る古代官道の交差点に当たります。神社入り口の大櫻は西国名所団会にも描かれています。西南角に建つ地蔵堂の後ろに巨大な礎石が用水溝に落ち込むように残されています。



⑩三十八柱神社

祭神は伊邪那岐命・伊邪那美命・宮中神三十六座です。拝殿の左方に、梅原猛氏による「小瀬田宮伝承之地」の立派な石碑が建てられています。これは当社の宮司故石井繁男氏が提唱された、「小瀬田宮は大福のこのあたりにあった」との説に賛同されて建てられたものです。



①若桜神社(東殿)

祭神は、第8代孝元天皇の長子・大彦命の後裔である伊波我加利命です。高屋安倍神社(西殿)の祭神は大彦命、屋主彦太思心命、産屋主思命で、いずれも安倍氏の祖神です。

この地は第17代履中天皇の磐余稚桜宮伝承地の一つで、境内地には桜井市の名のおこりとなった「桜の井」があります。



②安倍山城跡

1341年(暦応4)南北朝の時代、南朝方の西阿が籠る戒重城を攻めるため、北朝方の細川頼氏が陣を構えた山城で、後の1565年(永禄8)にも松永久秀が布陣し鳥見山城(外山)の筒井順慶と戦ったという場所です。今でも小規模な曲輪の跡が残っています。



③土舞台

612年(推古20)に時の摂政聖徳太子が、百濟の味摩之により伝えられた吳の「伎乐舞」を桜井にて児童に伝習せしめられた、と日本書紀に記された場所がここ土舞台といわれています。いわば初めての国立演劇研究所と国立劇場が設けられたところです。



④安倍文殊院

京都・天橋立の切戸文殊、奥州・山形の龜岡文殊と共に日本三文殊のひとつです。国宝の本尊文殊菩薩像は仏師快慶作で、高さ7mの騎獅像で日本最大の文殊菩薩です。知恵の文殊さんとして親しまれ、合格祈願やボケ封じ祈願に県内外からたくさん参詣されています。

グループナンバー

